

令和元年度 学校評価アンケートの集計結果

令和2年4月7日

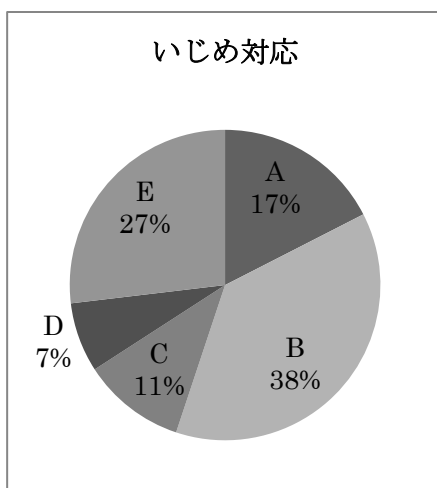
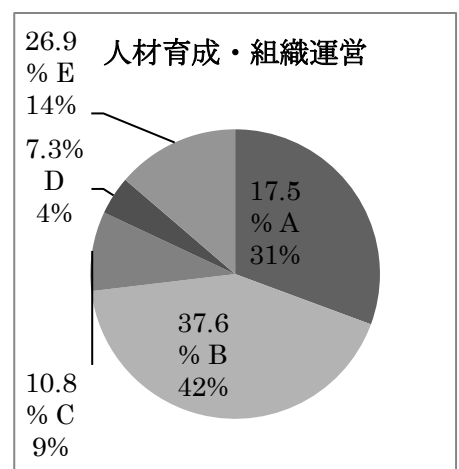
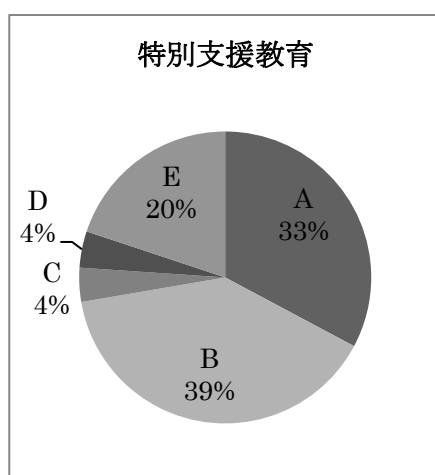
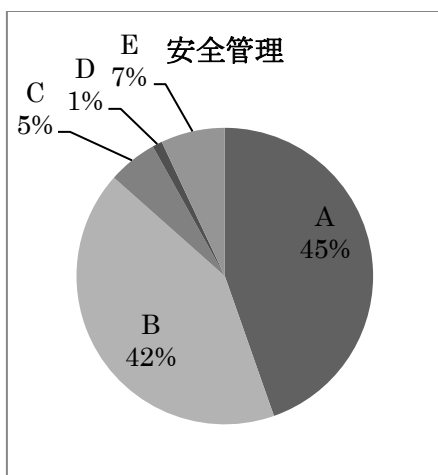
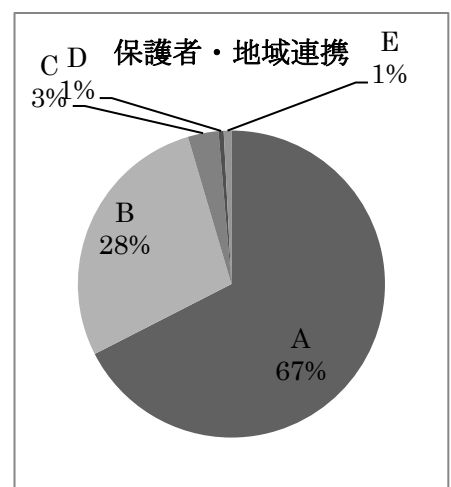
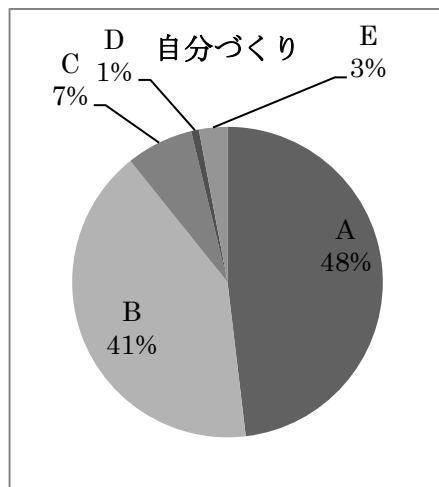
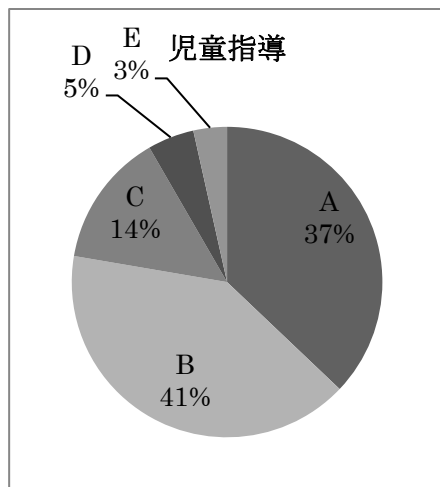
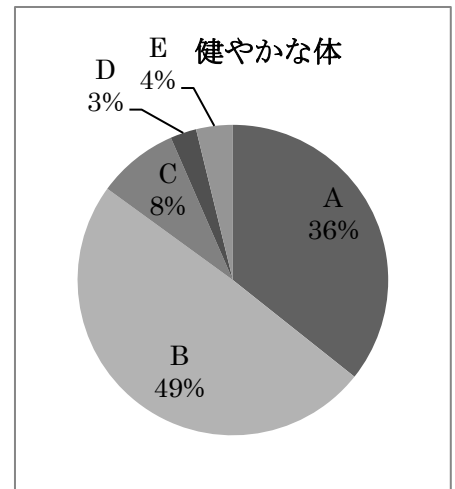
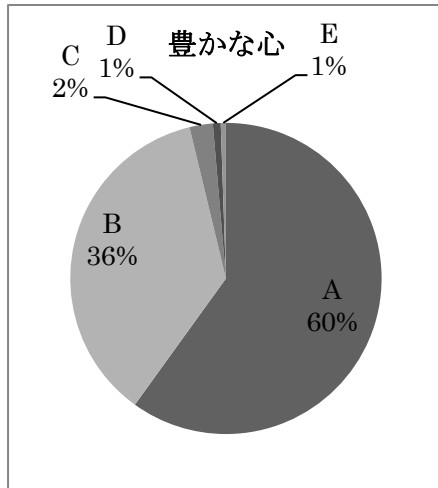
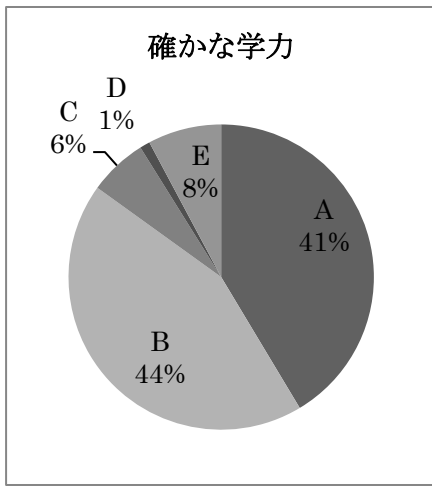
横浜市立南台小学校 校長 角井治朗

アンケートのご協力ありがとうございました。貴重なご意見は、今後の学校運営の参考にさせていただきます。

評価項目	ご意見	評定	
1 確 か な 学 力	① 学校は、日々の授業や朝モジュール等の取組により、学習の基礎・基本の定着を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・色々と自主性を伸ばす授業、活動を行なっていると思います。 ・これから子どもたちが成長し、社会に出た時に役立つと思います。 ・グループワークやディスカッション、発表など、集団でしかできない学習をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> A : 41%→ B : 43%↓ C : 6%→ D : 1%→ E : 8%↑
子どもたちが自分の気付きや考えを表現したり、学び合ったりする姿が見られたというご意見を多くいただきました。基礎的・基本的な知識・技能の定着については、要努力とのご意見も見受けられました。子どもたちの学習状況をていねいに把握し、個に応じた指導の充実を図っていく必要があると考えています。			
2 豊 か な 心	② 学校は、たてわり活動など、様々な人との交流の場を作り、コミュニケーション能力や社会性を育てている。	<ul style="list-style-type: none"> ・たてわり活動はとてもよいと思う。 ・保育園などとの交流は素晴らしい取組だと思った。同時におじいちゃん、おばあちゃんとの交流があるとよい。 ・男女隔たりなく、高学年が当たり前のように低学年の面倒を見て、名前呼び合うなど、みんなが仲良く過ごせてよい。 ・クラスメイト全員の個性が違うことへの理解（お互いを認め尊敬し合うこと）を深めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> A : 60%↑ B : 36%↓ C : 2%↓ D : 1%↓ E : 1%↓
A、B評価の割合、いただいたご意見から、今年度よりスタートしたたてわり活動を評価していただいたと考えています。地域の様々な方々との交流、幼稚園、保育園との交流等を評価するご意見をいただきました。また、相手の気持ちを考えて発言や行動できる、思いやりの心を育てていきたいというご意見を多くいただきました。			
3 健 や か な 体	③ 学校は、子どもたちが健康に関心をもち、健康の大切さを理解したり、健康を守ろうとしたりする指導に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝のマラソン、バスケット等の朝練は子どもがすごく楽しみにしているのをほしい。運動を積極的に取り入れて下さってうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> A : 36%→ B : 49%↑ C : 8%→ D : 3%→ E : 4%↓
健康への関心を高めたり理解を深めたりする取組やそれらを実践する取組を評価していただきました。今後も健やかな体づくりに向けて、子どもたちが主体的に取り組めるような活動を行っていきます。			
4 児 童 指 導	④ 学校は、あいさつ、時間を守る、言葉遣いなど、基本的な生活習慣を身に付ける取組を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、見守りで横断歩道に立っていると労いの言葉を掛けてくれる子どもも多くとてもうれしいです。 ・こちらが挨拶しても返事をしてくれる子供の方が少ない。挨拶は何事にも基本だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> A : 37%↑ B : 41%→ C : 14%↓ D : 5%↑ E : 4%↓
よくあいさつができていているというご意見がある一方、できていないというご意見もいただきました。いつでも、時と場に応じたあいさつができるように、具体的な手立てを考え、指導にあたっていきます。また、子どもたちが時間を意識して自ら行動することができるように指導するとともに、チャイムの在り方も見直していきます。			
5 自 分 づ く り	⑤ 生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域で体験的に学ぶ機会を設け、自信をもって活動できるようにしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習で地域の産業や企業などを見学に行かせてもらったりすることはとても良い経験になっていると思います。 ・今後も地域との関わりをもち、開かれた学校運営であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> A : 48% B : 41% C : 7% D : 1% E : 3%
今年度、生活科や総合的な学習の時間では、各クラスや学年ごとに、様々な地域の方々や施設、機関と積極的に関わりなが			

	ら学ぶ場を大切にしてきました。子どもたちも身近な題材や人と関わり意欲的に学習に取り組むとともに、改めて地域を見つめたり、大切に思ったりする気持ちを膨らませることができたと感じています。		
6 保 護 者 ・ 地 域 連 携	⑥ 学校は、年間予定の中に授業参観や学校行事等、保護者が学校の様子を知る機会をバランスよく位置付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの様々な学習や活動を見せていただければと思います。 ・地域とのつながりや学校の様子を見ることのできる機会が減ってきていて子どもたちが残念がっている。 ・教育目標に対して、具体的にどのような事を行っているのか、保護者へのフィードバックが少ないように思います。抽象的な目標達成の為に具体的にどんな取り組みをしているのか、懇談会時等にもっと話してほしいです。 	A : 68%↑ B : 28%↓ C : 3%↓ D : 1%→ E : 1%↓
	授業参観等、保護者の方にご来校いただく機会は年間にバランスよく位置づけられていることをおおむね評価していただきました。子どもたちの日常の様子とともに、地域とのかかわりなど多様な姿を見る機会があればという声もいただきました。具体的な取組をご覧いただくとともに、懇談会や学校だより等でも積極的にお伝えしていきたいと思っています。		
7 安 全 管 理	⑦ 学校は、避難訓練等を定期的に行い、子どもたちにとって過ごしやすい安全な施設、設備の維持、管理に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の知識をつけてもらいたい。家族の中でも時々話しますが、可能であれば保護者も一緒に考える機会があったら嬉しいです。 ・児童や家庭に対して定期的に交通安全への呼びかけをすることが重要だと思う。 	A : 45%↑ B : 42%↓ C : 5%↓ D : 1%↓ E : 7%→
	A、Bの合計(+7ポイント)から、安全な施設、設備の維持、管理等、日頃の危機管理体制や警報等発令時の対応等、おおむねご理解をいただきました。防災や交通安全についての定期的、継続的な指導を行っていきたくと思っています。また、登下校の見守りについては、学援隊を発足し、より多くの方々のお力をお借りしながら取り組んでいきたいと考えています。		
8 特 別 支 援 教 育	⑧ 学校は、特別支援教育に対する理解を深め、一人ひとりに応じた支援や授業を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが自然に触れ合えるような機会がもう少しあると理解を深められると感じる。 ・個々の能力を見逃すことなく底上げできるように、一人ひとりに目配り気配りをしてもらいたい。 	A : 33%↑ B : 40%→ C : 4%↓ D : 4%↓ E : 20%↑
	特別支援教室(取り出し授業)や特別支援教育支援員による支援などを行っています。今後も教職員間や保護者の皆様との連携を図りながら、個に応じたていねいな対応を行っていきます。		
9 人 材 育 成 組 織 運 営	⑨ 学校は、職員が連携して円滑な学校運営やきめ細かな児童指導を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の誰をも尊敬し意見を言える、そんな授業を先生方にしていただきたいです。 ・先生によって教育や指導にムラがありすぎるように思います。先生の個性と言ってしまうかもしれませんが、もう少し指導方法を統一するなどしてほしい。 ・先生方は子どもたちを良く見ていると思っています。 	A : 31%↑ B : 43%↓ C : 9%↓ D : 4%↓ E : 14%↑
	クラス間の学習進度に対する不安や更なる授業改善を期待する声をいただきました。今後、学年間での指導内容・方法の確認や教職員間の一層の連携や研修・研究の充実を図り、指導力の向上を目指していきます。また、E評価の割合が高くなっていることから、学校での取組を発信していく工夫も必要と感じています。		
10 い じ め へ の 対 応	⑩ 学校は、子どもたちの様子をもとったり、定期的にアンケートを実施したりし、いじめの早期発見や迅速な対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を進めることも大切だが、それよりも一人ひとりの子どもにきちんと目を向けてほしい。 ・いじめアンケートは、先生の対応も含めたものとして、学校生活全体を見据えるものにしてほしい。 	A : 18%→ B : 38%→ C : 11%↓ D : 7%→ E : 27%↑
	いじめやいじめに発展しそうな事案については、児童支援専任を中心に組織的に対応しています。今後も、日々の子どもの様子にしっかりと目を向けるとともに、いじめ防止に向け、保護者と学校との連携を大切に進めていきたいと考えています。		

※ 評定右の矢印は、対前年度比3%以上(↑)、0±2%(→)、3%以下(↓)として記載



A: と思う
 B: どちらかと言えばと思う
 C: どちらかと言えば努力が必要
 D: 努力が必要
 E: わからない